



春日同韻每山有云

和歌

有。省乃。と。和歌

い。ふ。心。を。和歌

能。屋。も。八。年。春。半。也

身。半。梨

詠松風入秋記今

和歌



詠松風入秋琴

和歌

白雲如白江暮乃

了響如ふら以

是流心より志

先字殊

卷目同詠二首和歌

時雨響

極先詠

春日同韻二首和歌

時雨響夏

有和歌

梅片海より秋半始り乃

志しき事ありてむらり

るもいふが事

閑居夕霰

さほむ秋はまきし乃さか

きりか秋はさきし乃さか

はらば秋はさきし乃さか

嘉辰金月

歡無極

万歳子林

樂未央

月の君の世に

ちのまきし事

いふ事なきは

花はひま

あ

嘉辰金月

歡無極

万歳子林

樂未央

君の心を

らんぬうきる

いんちんをわ

若くは

左 柿本丸

車はくき明石乃浦

乃胡音子鳴之進

将々も福河

於無物

右 中務

林響乃も耳

つぎささるる

うふ頼如象

もはきつあ

かき 跡

ちんあ

能 出

まらうら 耳 水

あ 心

うき

まう 物

心 心風

ま 物

ら。後乃文はもい。心 研能
若くはつ。咲吹くも

かき
孫

豊
孫

たてあひ
松
山

高
如
年
舟
松

あ
孫
山

山
如
山
松

山
如
山

山
如
山

ら。松乃文也。松乃言。松乃
松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。

立春

松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。
松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。

石

松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。
松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。

右
元河内

松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。
松乃すつ。松乃すつ。松乃すつ。



我
不
愛

身命
身命
身命

射
松

年
松
射
松

我可愛
身命
あはれなるはなはらうとて
つねに
あはれなるはなはらうとて
つねに

射松
年輪
あはれなるはなはらうとて
つねに
あはれなるはなはらうとて
つねに

落葉
あはれなるはなはらうとて
つねに
あはれなるはなはらうとて
つねに

蒼波
霧
遠
山
鳥
霧
深
勢

車
羽
石
鳥
海
舟
舟
舟

右小節小所
花乃
うは
あはれなるはなはらうとて
つねに
あはれなるはなはらうとて
つねに

心
舟
舟
舟
舟
舟
舟
舟

富
 徳
 信
 海
 測
 心

心
 海
 信
 徳
 富

心
 徳
 信
 海
 富

心
 徳
 信
 海
 富

心
 徳
 信
 海
 富

富 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

徳 徳 徳
 徳 徳 徳
 徳 徳 徳

此
 乃
 持
 明
 家
 御
 書
 法
 也

此
 乃
 持
 明
 家
 御
 書
 法
 也

此
 乃
 持
 明
 家
 御
 書
 法
 也

此
 乃
 持
 明
 家
 御
 書
 法
 也

右一卷者 持明家御書法也
 仍瀬某之家ニ傳シテ實政年
 間撰寫メ公送中ニ藏置テラ文政
 二年ノ春一ノ室ヨリ所身ノ東都
 邊宮ノ邸中ノ文庫ニ藏置
 大正三年一月一日 源百里



23
3645
104





8645
100

和歌書法 持明家傳

春日同歌 每山有云

和歌

保子
8645
100





73
3645
104

